



能美市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化を起因とする気候変動の影響により、猛暑や集中豪雨等による自然災害が激甚化・頻発化し、日常の生活に深刻な影響を及ぼしています。

地球温暖化への対応が世界共通の喫緊の課題となっている中、2018年に公表されたIPCC（国連の気候変動に関する政府間パネル）の報告書では、これらのリスクを低減するためには、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロにすることが必要とされています。

我が国においては、2020年に「2050年カーボンニュートラル」が宣言され、また、2022年には石川県が「いしかわカーボンニュートラル宣言」を行い、今後の脱炭素社会に向けた様々な取り組みが進められています。

能美市は、2023年に加賀立国・能美誕生1200年を迎え、海山川の恵みに潤う豊かな自然環境と景観が豊富にあり、美しい海岸線や田園風景などの里山里海が広がっています。このような先人から受け継いだ、恵まれた環境をより良い姿で、将来の世代へ引き継いでいくことが重要です。

これらを踏まえ、能美市は、SDGsの理念のもとに、市民や事業者、行政など多様な主体との協働による脱炭素に向けた取り組みを加速するため、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことをここに宣言します。

令和5（2023）年2月28日

能美市長

井出敏朗